

* Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 2002119452
PUBLICATION DATE : 23-04-02

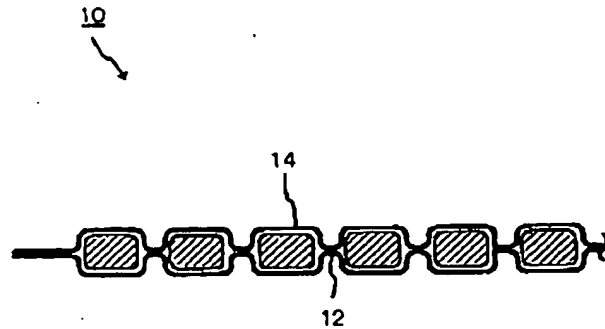
APPLICATION DATE : 18-10-00
APPLICATION NUMBER : 2000317663

APPLICANT : UNI HARTS KK;

INVENTOR : OCHI KENGO;

INT.CL. : A47L 13/16 A47L 13/17 A47L 13/24

TITLE : DISPOSABLE FLOORCLOTH, AND
CLEANING SET USING IT



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a disposable floorcloth capable of smoothly performing the cleaning work and maintaining sufficient water absorbability, and a cleaning set using it.

SOLUTION: This disposable floorcloth comprises an absorber part for absorbing liquid, and a hydrophilic surface sheet for holding and maintaining the absorber part. The floorcloth has a predetermined pattern so that the sectional shape is uneven.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-119452
(P2002-119452A)

(43) 公開日 平成14年4月23日 (2002. 4. 23)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト* (参考)
A 4 7 L 13/16		A 4 7 L 13/16	C 3 B 0 7 4
	13/17	13/17	A
	13/24	13/24	Z
			A
			A

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-317663 (P2000-317663)

(22) 出願日 平成12年10月18日 (2000. 10. 18)

(71) 出願人 393000283

ユニ・ハートス株式会社

東京都品川区西五反田7丁目20番9号

(72) 発明者 池上 武

東京都品川区西五反田7丁目20番9号 ユ

ニ・ハートス株式会社内

(72) 発明者 越智 健吾

東京都品川区西五反田7丁目20番9号 ユ

ニ・ハートス株式会社内

(74) 代理人 100098143

弁理士 飯塚 雄二

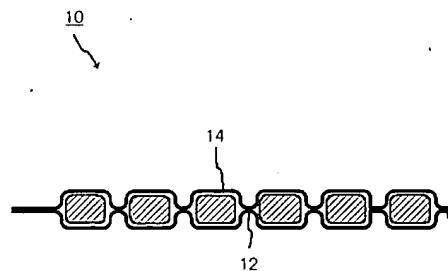
Fターム (参考) 3B074 AA00 AA02 AA08 AB01 AB02
BB03 EE00

(54) 【発明の名称】 使い捨て雑巾及びこれを用いた清掃用具セット

(57) 【要約】

【課題】 十分な吸水力を保持しつつ、スムーズに作業を行い得る使い捨て雑巾及びこれを用いた清掃用具セットを提供すること。

【解決手段】 液体を吸収する吸収体部と；吸収体部を挟んで保持する親水性の表面シートとを備える。そして、断面形状に凹凸を持たせるように所定のパターンを形成している。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】モップタイプの清掃具の先端に装着して使用するシート状の使い捨て雑巾において、
吸水性に優れた吸収体部と；前記吸収体部を挟んで保持する親水性の表面シートとを備え、
少なくとも当該雑巾の使用面において、凹凸パターンを形成したことを特徴とする使い捨て雑巾。

【請求項2】前記吸収体部は、粉碎パルプと当該粉碎パルプを包囲する連続繊維とを有することを特徴とする請求項1に記載の使い捨て雑巾。

【請求項3】前記表面シートと前記連続繊維は、熱融着性を有し、これらを上下方向より部分的に接着することにより、前記凹凸パターンを形成することを特徴とする請求項2に記載の使い捨て雑巾。

【請求項4】前記パターンは、前記清掃具を滑らす方向に対してほぼ垂直に延びる直線状であることを特徴とする請求項1、2又は3に記載の使い捨て雑巾。

【請求項5】前記パターンは、前記清掃具を滑らす方向に対してほぼ垂直に延びる波線状であることを特徴とする請求項1、2又は3に記載の使い捨て雑巾。

【請求項6】前記パターンは、複数の円によるドットパターンであることを特徴とする請求項1、2又は3に記載の使い捨て雑巾。

【請求項7】モップタイプの清掃具と；前記清掃具の先端に装着される請求項1記載の使い捨て雑巾とを備えたことを特徴とする清掃用具セット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、モップなどの先端に装着して使用される使い捨て雑巾に関する。特に、水やワックスなどの水分を吸収した状態で使用するのに適した使い捨て雑巾に関する。

【0002】

【従来の技術】床の上にあるホコリや髪の毛を除去するために、使い捨ての雑巾（シート）を用いたモップが実用化されている。このようなシートは、コストなどの面から不織布で製造されることが多い。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記のような従来の使い捨て雑巾を使用した場合、水拭き、ワックスがけを行う際に問題があった。すなわち、薄い不織布のシートでは、吸水力が不十分であったり、床との摩擦でスムーズに作業を行うことができなかった。

【0004】本発明は上記のような状況に鑑みてなされたものであり、十分な吸水力を保持しつつ、スムーズに作業を行い得る使い捨て雑巾及びこれを用いた清掃用具セットを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明に係る使い捨て雑巾は、吸水性に優れた吸収

体部と；吸収体部を挟んで保持する親水性の表面シートとを備える。そして、少なくとも使用面において、凹凸パターンを形成している。このように、使い捨て雑巾の断面形状が凹凸となるようなパターンを形成することにより、床との接触面積が小さくなり、水分を含んだ状態でも当該雑巾をスムーズに滑らせて使用することができる。

【0006】本発明において、好ましくは、粉碎パルプと当該粉碎パルプを包囲する連続繊維とによって吸収体部を構成する。粉碎パルプを連続繊維で包囲することにより、粉碎パルプがばらつくことなく、また、連続繊維によって形成される空間によって吸水力が向上する。表面シートと連続繊維に熱融着性を使用し、これらを上下方向より部分的に熱接着することにより、パターンを形成することができる。

【0007】凹凸パターンの形状としては、直線状、波線状、複数の円によるドットパターン等を採用することができる。

【0008】

【発明の実施の形態】以下本発明の実施の形態について、モップの先端に装着して使用する使い捨て濡れ雑巾を例にとって説明する。

【0009】図1は、本発明の第1の実施例に係る使い捨て濡れ雑巾10の平面形状を示す。また、図2は、当該使い捨て濡れ雑巾10の概略断面構造を示し、図3は詳細な拡大断面構造を示す。本実施例の使い捨て濡れ雑巾10は、吸収体を収容しない接着部12と吸収体を収容した非接着部14とから構成されている。

【0010】図3に示すように、非接着部14の内部には、粉碎パルプ20を連続繊維（TOW）層18a、18bで包囲したものが収容されている。連続繊維層18a、18bとしては、例えば、直径1mm以下のポリエステルとポリプロピレンの複合繊維を、40g/m²だけ積層してシート状に成形したものを使用する。粉碎パルプ20は、例えば、単位面積当たりの重量が50g/m²のものを使用する。

【0011】連続繊維層18a、18bの外側には、不織布よりなる表面層16a、16bが配置されている。表面層16a、16bとしては、例えば、レーヨン繊維80%+熱融着性のポリオレフィン繊維20%を水流にて交絡させ、加熱処理を施した不織布（スパンレース）を目付量40g/m²だけ使用する。接着部12の幅（シール幅）は、例えば、2mmとし、5mmピッチで成形する。

【0012】上記のような構成の使い捨て濡れ雑巾10の製造に際しては、連続繊維層18a、18bと粉碎パルプ20からなる吸収コアを表面層16a、16bによって挟み込む。その後、表面層16a、16bと吸収コア（粉碎パルプ20、連続繊維層18a、18b）を熱エンボス加工により一体化する。この時、粉碎パルプ2

0は上下方向からの圧力により水平方向に移動し(図3参照)、連続繊維層18a、18bと表面層16a、16bとが熱接着される。その結果、弾力性のある凹凸パターンを成形することが可能となる。

【0013】図4は、本実施例に係る使い捨て濡れ雑巾10の使用状態を示す。使い捨て濡れ雑巾10は、モップ22の先端部に装着して使用される。なお、長い柄のモップ以外にも、短い柄のハンディーモップや、他の形状のモップタイプの清掃用具に使用できることは言うまでもない。本発明の使い捨て濡れ雑巾の使用方法としては、予め水を含ませて床面を水拭きしたり、ワックスを含ませてワックスがけしたりすることができる。その他にも、床にこぼれた水を拭き取るために使用することも可能である。更には、床面、雑巾共に乾いた状態で使用しても、単に床面に落ちたホコリや髪の毛を捕集することができる。

【0014】水やワックスなどの液体を含ませた状態で使用すると、モップ22を床に押しつけることにより、吸収コア(粉碎パルプ20、連続繊維層18a、18b)に含まれた水分が外側にスムーズに移行し、親水性

の高いレーヨン繊維に保持される。

【0015】上述したように、使い捨て濡れ雑巾10の断面形状が凹凸となるようなパターンを形成することにより、床との接触面積が小さくなり、水分を含んだ状態でも当該雑巾をスムーズに滑らせて使用することができる。また、粉碎パルプ20と当該粉碎パルプ20を包囲する連続繊維層18a、18bとによって吸収体コアを構成しているため、粉碎パルプ20がばらつくことなく、また、連続繊維層18a、18bによって形成される空間によって吸水力が向上する。

【0016】図5は、本発明の第2の実施例に係る使い捨て濡れ雑巾30を示す。本実施例の使い捨て濡れ雑巾30は、第1の実施例と同様に接着部32と非接着部34とから構成されている。その他の構成、素材、構造、製造方法、使用方法及び作用効果については、第1の実施例と同様であるため、重複した説明は避けるものとする。要するに、本実施例と第1の実施例との違いは、凹凸パターンの形状である。すなわち、本実施例においては、雑巾上の凹凸パターンを波線状に成形し、更に滑りを向上させている。

【0017】図6は、本発明の第3の実施例に係る使い捨て濡れ雑巾40を示す。本実施例の使い捨て濡れ雑巾

40は、第1の実施例と同様に接着部44と非接着部42とから構成されている。その他の構成、素材、構造、製造方法、使用方法及び作用効果については、第1の実施例と同様であるため、重複した説明は避けるものとする。要するに、本実施例と第1又は第2の実施例との違いは、凹凸パターンの形状である。すなわち、本実施例においては、食器洗浄用のスポンジのように、雑巾上の凹凸パターンを複数の円によるドット状に成形して、更に滑りを向上させている。

10 【0018】以上、本発明の実施例について説明したが、本発明はこれらの実施例に何ら限定されるものではなく、特許請求の範囲に示された技術的思想の範囲において変更可能なものである。例えば、凹凸パターンの形成位置は、雑巾全面でなくとも、床に接する面のみに形成しても同様の効果が得られることは言うまでもない。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、断面形状が凹凸となるようなパターンを形成することにより、床との接触面積が小さくなり、水分を含んだ状態でも当該雑巾をスムーズに滑らせて使用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の第1の実施例に係る使い捨て濡れ雑巾の構成を示す平面図である。

【図2】図2は、図1のA-A方向の断面図である。

【図3】図3は、図2に示す断面の詳細構造を示す拡大断面図である。

【図4】図4は、第1の実施例に係る使い捨て濡れ雑巾の使用状態を示す説明図(斜視図)である。

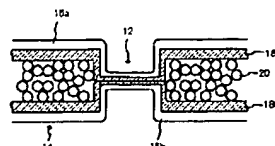
30 【図5】図5は、本発明の第2の実施例に係る使い捨て濡れ雑巾の構成を示す平面図である。

【図6】図6は、本発明の第3の実施例に係る使い捨て濡れ雑巾の構成を示す平面図である。

【符号の説明】

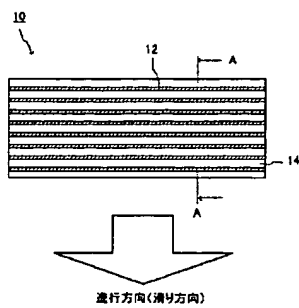
10、30、40 使い捨て濡れ雑巾
12、32、44 接着部
14、34、42 非接着部
16a、16b 表面層
18a、18b 連続繊維層
20 粉碎パルプ
22 モップ

【図3】

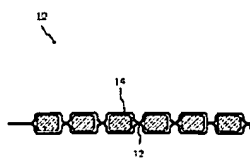


BEST AVAILABLE COPY

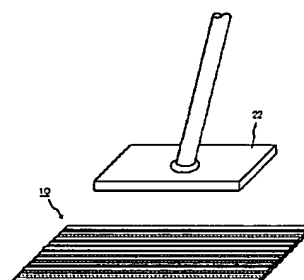
【図1】



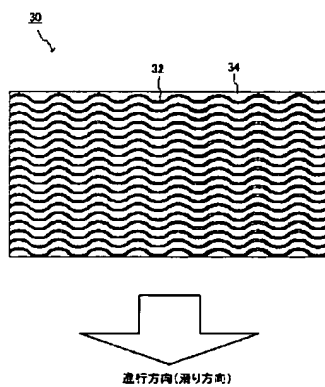
【図2】



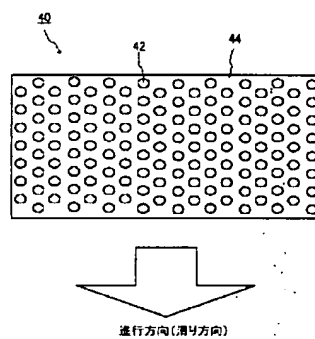
【図4】



【図5】



【図6】



BEST AVAILABLE COPY